

## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月9日

上場会社名 アネスト岩田株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6381 URL <https://www.anestiwata-corp.com/jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 深瀬 真一  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 入部 貴義 TEL 045-591-9344  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	25,898	14.5	2,866	22.5	3,951	27.5	2,623	32.9
2023年3月期第2四半期	22,613	11.1	2,340	1.6	3,098	16.0	1,973	16.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 5,100百万円 (2.2%) 2023年3月期第2四半期 4,991百万円 (56.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	64.82	
2023年3月期第2四半期	48.75	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	64,080	49,062	67.8
2023年3月期	60,136	45,255	66.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 43,441百万円 2023年3月期 40,025百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		16.00		22.00	38.00
2024年3月期		22.00			
2024年3月期(予想)				23.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,900	9.0	6,100	4.5	7,700	9.3	4,600	8.7	113.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	41,745,505 株	2023年3月期	41,745,505 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,258,652 株	2023年3月期	1,278,572 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	40,475,459 株	2023年3月期2Q	40,491,927 株

当社は、2020年3月期より業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」を導入しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益の算定において、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間についても、百万円単位に変更して記載しております。

(将来に関する記述について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績及び財政状態に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績及び財政状態に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

## ①概要及び経営成績

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、世界的なインフレの長期化や金融引き締め継続、中国経済の減速などにより停滞感が強まりました。日本経済におきましては、インバウンド需要の拡大継続やサービスを中心とした個人消費の緩やかな回復を受けて、改善傾向が続いています。

このような状況のなか、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高25,898百万円（前年同四半期連結累計期間対比14.5%増）、営業利益2,866百万円（同22.5%増）、経常利益3,951百万円（同27.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,623百万円（同32.9%増）となりました。

（ご参考値）事業部別の状況

（単位：百万円）

事業部 (製品区分)	当第2四半期連結累計期間 2023年4月1日～2023年9月30日	
	連結売上高 (前年同期増減率)	連結営業利益 (前年同期増減率)
エアエナジー事業部	15,967 (16.5%)	1,413 (6.2%)
圧縮機	14,522 (15.4%)	
真空機器	1,445 (29.6%)	
コーティング事業部	9,930 (11.4%)	1,452 (43.9%)
塗装機器	8,755 (8.7%)	
塗装設備	1,175 (37.2%)	
合計	25,898 (14.5%)	2,866 (22.5%)

（注）事業部別の連結営業利益は、当社グループ独自の基準により算定しております。

## ②セグメントの業績

当社グループで採用しております所在地別のセグメントの状況は以下のとおりです。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記-(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」の（セグメント情報等）をご参照ください。

## 日本

売上高は13,256百万円（前年同四半期連結累計期間対比15.6%増）、セグメント利益は1,866百万円（同25.4%増）となりました。

圧縮機製品では、中形レンジを含めオイルフリー圧縮機の売上が堅調に推移しました。

真空機器製品では、半導体市況の改善に支えられ、真空ポンプの売上が伸長しました。

塗装機器製品では、主力のスプレーガンに加えて、環境装置において10月からの値上げに伴う駆け込み需要の取り込みや物件管理の徹底が奏功し、売上が伸長しました。

塗装設備製品では、大型案件を含む産業機械向け塗装設備などを納入したことで、売上が伸長しました。

## 欧州

売上高は4,558百万円（前年同四半期連結累計期間対比23.8%増）、セグメント利益は524百万円（同102.4%増）となりました。利益の増加は、主に塗装機器の販売増加や2017年に買収した子会社ののれんの償却が完了したことなどによるものです。

圧縮機製品では、引き続きOEM先の需要拡大に加えて装置メーカーなどの販路開拓を継続しており、オイルフリー圧縮機の売上が伸長しました。

塗装機器製品では、前連結会計年度に販売を開始した自動車補修市場向け新型スプレーガンが引き続き好調に推移したことに加えて、エアブラシの販売が伸長しました。

## 米州

売上高は3,529百万円（前年同四半期連結累計期間対比20.5%増）、セグメント利益は469百万円（同38.0%増）となりました。

圧縮機製品では、主にアメリカやブラジルにおける車両搭載向け圧縮機の売上が伸長しました。

真空機器製品では、第1四半期連結会計期間よりアメリカの真空機器販売代理店から事業の一部を取得したことにより効果的な営業活動ができたことで、売上が伸長しました。

塗装機器製品では、主にスプレーガンの売上が伸長しました。そのほか、欧州で先行発売した自動車補修市場向けスプレーガンの販売を開始しており、高い評価を受けています。

## 中国

売上高は5,959百万円（前年同四半期連結累計期間対比16.2%増）、セグメント利益は297百万円（同3.7%減）となりました。利益の減少は、現地子会社における仕入価格の上昇並びに売上高の減少や人件費の増加などによるものです。

圧縮機製品では、第1四半期連結会計期間に開催された国際展示会における販促活動が奏功したことなどにより、引き続き上海斯可絡圧縮機有限公司の輸出販売が好調に推移しました。加えて、リチウムイオン電池製造向け圧縮機の売上が伸長しました。

真空機器製品では、半導体製造関連装置向けやリチウムイオン電池製造向け真空ポンプの売上が伸長しました。

塗装機器製品では、中国経済減速の影響を受けて需要が縮小したことで売上が減少しました。

塗装設備製品では、日系自動車部品メーカーの設備投資意欲の減退による影響を受け、売上が減少しました。

## その他

売上高は4,765百万円（前年同四半期連結累計期間対比2.2%増）、セグメント利益は764百万円（同10.1%増）となりました。

圧縮機製品では、インドにおいて第1四半期連結会計期間に生産能力増強に向けて実施していた設備投資の一部が完了したことやタイにおける販路開拓が奏功し、総じて売上が伸長しました。

塗装機器製品では、インドや東アジアにおけるスプレーガン及び東南アジアの塗料供給機器の売上が伸長しました。

塗装設備製品では、客先都合により大型案件の納入時期が遅れたことなどにより売上は減少したものの、インドにおける自動車部品製造向け塗装設備などの受注残が増加しています。

## ③財政状態の分析

資産は、流動資産が39,672百万円（前連結会計年度比7.9%増）となりました。これは主に、「受取手形及び売掛金」が1,294百万円増加したことや「原材料及び貯蔵品」が655百万円増加したことなどによるものです。固定資産は24,407百万円（同4.5%増）となりました。これは主に、「のれん」が104百万円増加したことや「投資有価証券」が217百万円増加したことなどによるものです。その結果、総資産は64,080百万円（同6.6%増）となりました。

負債は、流動負債が11,828百万円（同0.9%増）となりました。これは主に、「支払手形及び買掛金」が253百万円増加したことなどによるものです。固定負債は、3,190百万円（同0.9%増）となりました。これは主に、「退職給付に係る負債」が64百万円増加したことなどによるものです。その結果、負債合計は15,018百万円（同0.9%増）となりました。

純資産は、49,062百万円（同8.4%増）となりました。これは主に、円安により「為替換算調整勘定」が1,394百万円増加したことなどによるものです。また、純資産より非支配株主持分を除いた自己資本は43,441百万円となり自己資本比率は前連結会計年度末の66.6%から1.2ポイント増加し67.8%となりました。

④キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1,049百万円増加し、13,130百万円（前連結会計年度末比8.7%増）となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、資金収支は1,914百万円の収入（前年同四半期比140.2%増）となりました。これは主に、「税金等調整前四半期純利益」が806百万円増加したことに加え、退職給付信託の設定に伴う1,000百万円の支出が前期に含まれていたことなどによるものです。

2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、資金収支は75百万円の収入（前年同四半期は1,568百万円の支出）となりました。これは主に、「定期預金の払戻による収入」が888百万円増加したことや「有形固定資産の取得による支出」が334百万円減少したことなどによるものです。

3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、資金収支は1,534百万円の支出（前年同四半期比15.9%増）となりました。これは主に、「配当金の支払額」が199百万円増加したことなどによるものです。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想は、2023年5月9日に公表しました予想を修正いたしました。詳細につきましては、2023年11月9日に公表しました「2024年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2024年3月期の期末配当予想については、2023年5月9日に公表しました予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,512	15,315
受取手形及び売掛金	9,102	10,397
商品及び製品	6,842	7,312
仕掛品	1,261	992
原材料及び貯蔵品	3,740	4,395
その他	1,693	1,800
貸倒引当金	△377	△540
流動資産合計	36,773	39,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,590	5,595
その他（純額）	6,870	7,434
有形固定資産合計	12,461	13,029
無形固定資産		
のれん	757	861
その他	2,447	2,577
無形固定資産合計	3,204	3,439
投資その他の資産		
投資有価証券	5,464	5,682
その他	2,243	2,268
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	7,696	7,939
固定資産合計	23,363	24,407
資産合計	60,136	64,080

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,355	5,609
短期借入金	908	949
未払法人税等	888	984
賞与引当金	844	791
その他の引当金	268	227
その他	3,452	3,265
流動負債合計	11,719	11,828
固定負債		
退職給付に係る負債	1,188	1,253
役員株式給付引当金	181	177
その他	1,791	1,759
固定負債合計	3,161	3,190
負債合計	14,881	15,018
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,354	3,354
資本剰余金	1,008	1,008
利益剰余金	34,282	36,012
自己株式	△1,179	△1,159
株主資本合計	37,466	39,216
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	527	793
為替換算調整勘定	2,034	3,429
退職給付に係る調整累計額	△3	1
その他の包括利益累計額合計	2,558	4,225
非支配株主持分	5,229	5,621
純資産合計	45,255	49,062
負債純資産合計	60,136	64,080



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	22,613	25,898
売上原価	12,917	14,277
売上総利益	9,696	11,620
販売費及び一般管理費	7,355	8,754
営業利益	2,340	2,866
営業外収益		
受取利息及び配当金	56	100
為替差益	515	561
持分法による投資利益	176	398
その他	58	67
営業外収益合計	806	1,128
営業外費用		
支払利息	25	27
その他	23	15
営業外費用合計	48	43
経常利益	3,098	3,951
特別利益		
固定資産売却益	4	6
投資有価証券売却益	—	14
子会社清算益	56	—
特別利益合計	60	20
特別損失		
固定資産除売却損	3	10
特別損失合計	3	10
税金等調整前四半期純利益	3,155	3,961
法人税、住民税及び事業税	970	1,152
法人税等調整額	△138	△232
法人税等合計	832	920
四半期純利益	2,323	3,041
非支配株主に帰属する四半期純利益	349	417
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,973	2,623

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,323	3,041
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	266
為替換算調整勘定	2,255	1,523
退職給付に係る調整額	5	4
持分法適用会社に対する持分相当額	392	263
その他の包括利益合計	2,668	2,058
四半期包括利益	4,991	5,100
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,020	4,289
非支配株主に係る四半期包括利益	971	810

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,155	3,961
減価償却費	853	946
のれん償却額	138	116
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	32	136
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12	△55
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	0	△7
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△5	36
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△12	0
退職給付信託の設定額	△1,000	—
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△42	△37
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	31	△4
受取利息及び受取配当金	△56	△100
支払利息	25	27
持分法による投資損益 (△は益)	40	△120
固定資産除売却損益 (△は益)	△0	3
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△14
子会社清算損益 (△は益)	△56	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△469	△656
棚卸資産の増減額 (△は増加)	286	△54
仕入債務の増減額 (△は減少)	△353	△348
その他	△815	△868
小計	1,763	2,961
利息及び配当金の受取額	56	101
利息の支払額	△25	△27
法人税等の支払額	△997	△1,120
営業活動によるキャッシュ・フロー	797	1,914
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,255	△1,352
定期預金の払戻による収入	956	1,845
有形固定資産の取得による支出	△1,120	△785
有形固定資産の売却による収入	8	12
無形固定資産の取得による支出	△224	△206
投資有価証券の売却による収入	—	263
投資有価証券の償還による収入	100	300
貸付けによる支出	△1	△3
貸付金の回収による収入	3	5
その他	△35	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,568	75

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△8	△17
リース債務の返済による支出	△141	△154
長期借入金の返済による支出	△21	△88
自己株式の取得による支出	△159	△0
配当金の支払額	△694	△893
非支配株主への配当金の支払額	△298	△381
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,324	△1,534
現金及び現金同等物に係る換算差額	871	593
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,224	1,049
現金及び現金同等物の期首残高	12,916	12,080
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,692	13,130

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役及び執行役員に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は、2019年6月25日開催の第73期定時株主総会決議に基づき、当社の取締役（監査等委員である取締役、及びそれ以外の取締役のうち社外取締役であるものを除く。）及び取締役を兼務しない執行役員（以下、「取締役等」という。）を対象に、中長期的な業績の向上と企業価値の増大、株主重視の経営意識を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託（BBT）」（以下、「本制度」という。）の導入をしております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が設定する信託（以下、本制度に基づき設定される信託を「本信託」という。）が、当社より拠出する金銭を原資として当社株式を取得し、本信託を通じて取締役等に対して、当社が定める株式給付規程に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭（以下、「当社株式等」という。）が給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

(2) 信託に残存する当社株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。前連結会計年度末における自己株式の帳簿価額は173百万円、株式数は174,200株であり、当第2四半期連結会計期間末における自己株式の帳簿価額は153百万円、株式数は154,200株です。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	日本	欧州	米州	中国	その他(注)	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	7,890	3,560	2,704	4,710	3,747	22,613
外部顧客への売上高	7,890	3,560	2,704	4,710	3,747	22,613
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,577	121	225	418	914	5,256
計	11,467	3,682	2,930	5,128	4,661	27,870
セグメント利益	1,488	259	340	309	694	3,091

(注)「その他」の区分は、台湾、インド、タイ、韓国、ベトナム、インドネシア、オーストラリア及び南アフリカの現地法人の事業活動です。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,091
全社費用(注)	△475
セグメント間取引消去	△275
四半期連結損益計算書の営業利益	2,340

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	日本	欧州	米州	中国	その他(注)	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	9,085	4,184	3,316	5,445	3,866	25,898
外部顧客への売上高	9,085	4,184	3,316	5,445	3,866	25,898
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,171	373	213	514	898	6,171
計	13,256	4,558	3,529	5,959	4,765	32,069
セグメント利益	1,866	524	469	297	764	3,923

(注)「その他」の区分は、台湾、インド、タイ、韓国、ベトナム、インドネシア、オーストラリア及び南アフリカの現地法人の事業活動です。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,923
全社費用(注)	△583
セグメント間取引消去	△474
四半期連結損益計算書の営業利益	2,866

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。